

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月27日更新

事務事業名		墓地経営許可事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部	課長名	財津 公正	
	施策	9	住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	小畑 英之	
	基本事業	23	環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1142	
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10124	法令根拠	墓地、埋葬等に関する法律 合志市墓地、埋葬等に関する法律施行細則		成果優先度評価結果	⑫
									コスト削減優先度評価結果	⑥	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成19年度までは県の許可事業であり、市では相談を行っていたところであるが、平成20年度に権限委譲で市に移管された。墓地申請前の相談受付、申請受付、審査、許可書交付、現地確認検査
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	墓地造成相談・申請受付、審査、許可書交付事務
【主な予算費目】	
【意見や要望】	住民、事業対象者より墓地造成に関する相談がある。住民の方から埋葬するための納骨堂や墓地についての問い合わせがある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
墓地申請前の相談受付		墓地及び埋葬に関する法律に基づく各種申請・許可事務。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:相談件数	件	時間外勤務手当等の減、予算計上なし	
→イ:			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
申請者		→ア:申請件数	件
		→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
適正な墓地の造成、経営を目指す		→ア:申請書受理数/申請数	%
		→イ:	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
意図は適正な墓地の造成、経営を目指すことなので、成果指標を「申請書受理数/申請数」とした。申請書の受理までに事前協議を実施するようにしているので、目標値を「100%」と設定した。			全体計画
			～ 年度
			0

(2)各指標・総事業費 の推移			単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア イ	件		3	5	2	5	2	2	2	2
② 対象指標	ア イ	件		0	0	2	1	2	2	2	2
③ 成果指標	ア イ	%		0	0	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	102	103	55					
		(A) 事業費計	千円	102	103	55	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	30	30	55	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	55	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	4	3	4	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	180	510	160	380	300	300	300	300
	(B)人件費計	千円	741	2,059	646	1,546	1,211	1,211	1,211	1,211	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	843	2,162	701	1,546	1,211	1,211	1,211	1,211	

事務事業名	墓地経営許可事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 申請書の受理までに事前協議を実施するようにしているので、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 適正な申請のみ審査し受理するものであり、向上余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 予算措置なし。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 申請相談等に応じて対応しているので削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内の墓地経営許可であるので、市の事務として行うのは公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 墓地経営許可は市が行う事務であるため、適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度は、個人墓地2件、集落営墓地、管理組合営墓地、法人営墓地の申請相談があった。法人営墓地経営申請が1件あり、許可した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策